

第1学年 家庭科 年間学習計画と評価

1 教科目標等について

目標	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、衣食住などに関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。〔知識及び技能〕 (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。〔思考力、判断力、表現力等〕 (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。〔学びに向かう力、人間性等〕
教科書	新しい技術・家庭 家庭分野（開隆堂）
副教材	ワークシート

2 評価の観点及び方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
・定期・小テスト等 ・パフォーマンス（技能）テスト ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）	・定期・小テスト等 ・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等）	・授業の様子や発言内容 ・指導に対する成果物（レポート、作品等） ・振り返り（自己・相互評価）

3 学習についてのアドバイス

学 校	・学習課題等を捉え、自分なりの問いを持ち、解決する方法を工夫しよう。 ・先生の指示や友達の発言をしっかりと聞こう。 ・目的や対象等を意識して、伝わるように話したり、文章を書いたりするようにしよう。 ・学習の記録（ノート等）は、工夫してまとめるとともに、自分の考えや気付いたことなども書き込むようにしよう。 ・安全に気をつけて実習をしよう。
家 庭	・教科書等を参考にして、何を学習するのか、自分はどのように考えるのかを整理しよう。 ・学習したことを、家庭で実践してみよう。

4 主な単元・教材及び目標

時間	主な学習目標	
4	1 自分の成長と家族・家庭生活	・自分の成長と、家族や地域の人びとのかかわりと、自分自身の理解を深める。 ・家庭での活動を考え、家族・家庭の基本的な機能について理解する。 ・自分や家族の生活は家庭内や家庭外の活動が支えていることに気づく。 ・家族には互いの立場や役割があり、協力することで家族関係をよりよくすることができることを理解する。
	2 編 1 章 衣生活と自立 ①衣服の働きを考えよう	・衣服の目的に応じた着方や個性を生かした着方を考えながら、衣服の働きをまとめる。
5	②T.P.O. を踏まえた自分らしい着方を工夫しよう。	・個性を生かした服装について知り、自分らしい着方を考える。
	③衣服の計画的な活用方法を考えよう	・衣服調べをして、必要な衣服の数量を把握し、過不足や処分の仕方を考える。
	④必要な衣服を選択しよう	・手持ちの衣服の活用を考えながら、表示や縫製の良否、手入れの方法や価格など、既制服の適切な選択方法を知る。
	⑤衣服の手入れをしよう	・衣服の洗濯や補修などの手入れの必要性を理解し、衣服の材料や状態に応じた手入れの方法を知る。
6	⑥よりよい衣生活を目指して	・よりよい衣生活を目指して、衣服計画を立て、衣服の活用や管理の方法を工夫する。
	①住まいの役割と住まい方を考えよう	・住まいの役割や基本的な機能について考える。 ・自分や家族の生活と住まい方との関わりを考える。
	②住まいの安全について考えよう	・家庭内事故とその原因について知り、安全に住むために改善できることを考える。
	③災害に備えた住まい方について考えよう	・住まいの災害対策について知り、災害に備えてできることを考える。
	④健康で快適な室内環境を工夫しよう	・健康で快適な室内環境の条件を知り、改善方法を考える。
	⑤よりよい住生活を目指して	・家族が安全で快適に住むための室内環境について課題を見つけ、改善方法を考える。
7	生活の課題と実践	・学習してきたことを生かし、改善する点や課題はないか自分や家族の住生活を見直す。 ・課題を解決したり、より豊かな生活にしたりするための工夫を考え、計画を立て実践する。 ・立てた計画をグループで発表し合い、計画を見直す。 ・各自で実践したことをまとめ、発表し合う。

7	①生活を豊かにするための工夫をしよう	・生活の中で、あるといいなと思うものを考える。 ・製作に必要な材料や用具、製作手順や時間などの見通しを持つ。 ・生活を豊かにする具体的な物を製作する。
9	①消費者としての自覚を持つ	・自分の生活を振り返り、消費生活や環境との関わりについて考える。 ・自分や家族の消費生活を振り返り、適切な消費行動について点検する。 ・契約の意味について理解する。
	②販売方法と支払い方法について知ろう	・具体的な買い物の場面を取り上げ、販売方法や支払い方法について考える。
	③商品の選択と購入について考えよう	・商品の選択、購入をするときに必要な情報を収集し、整理する。 ・商品の活用方法についても考える。
	④消費者トラブルを解決する方法を考えよう	・消費者に関わるトラブルなどの実際の例を取り上げ、その解決方法について考える。
	⑤消費者の権利と責任について考えよう	・実際の消費生活と結びつけ、消費者の権利や責任について理解する。
	⑥よりよい消費生活を目指して	・これまで学習したことを生かして、消費者のひとりとして、環境のため、社会のためにできることを考える。